



王墓の丘史跡公園にある豊富な遺物が出土した古墳

### 王墓山古墳



指定区分	県指定史跡
読みかた	おうぼさんこふん
所在地	倉敷市日畑
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	明治末年の乱掘によって石室は失われ、墳丘も変形しているが、もとは横穴式石室を持つ径25mほどの円墳か方墳だったと考えられている。組み合わせ式の家形石棺がある。四仏四獣鏡や金銅製の馬具をはじめ、金環、勾玉、武具など多数の副葬品が出土している。
アクセス方法	JR吉備津駅から約3km
公開状況	自由
設備	駐車場  トイレ 
備考	楯築遺跡の近く。王墓の丘史跡公園として散策路も整備されている。出土遺物は、東京国立博物館に収蔵されている。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	王墓山古墳
よみかた	おうぼさんこふん
しょざいち (所在地)	倉敷市日畑
していつひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	住宅団地(じゅうたくだんち)として開発(かいはつ)されたため古墳(こふん)の形(かたち)が変わってしまっています。王墓(おうぼ)の丘(おか)史跡公園(しせきこうえん)として散歩道(さんぽみち)などが整備(せいび)されています。